



福島市長らにプレゼンテーションする木造高生

木造高生が市の活性化に向けプレゼン

木造高校流通ビジネス系列の生徒たちが11月22日、福島市長らを同校に招き、市の活性化に向けた事業提案を行いました。

西村瑠久さんら2年生8人によるメロン流通グループは、市産メロンの香港・シンガポールへの輸出拡大を目指しています。現地でのアンケートを基に価格等を検証し、来年度は香港で1個2,100円、シンガポールでは2,400円で販売することで約160万円の売り上げを目指す計画を発表しました。

沼畑大さん(3年)は、8月に実施した「田小屋野貝塚ウオーク」でガイドを務めた実績と参加者のアンケートを基に、デジタル技術を活用した遺跡の見える化推進など縄文遺跡を盛り上げる取り組みと改善案などを提案しました。

目指せ全国ベスト8!

12月25日～28日に大阪市で開催された「JOCジュニアオリンピックカップ第33回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」の本県選抜メンバーに、男子では木造中学校の宮本詩音さんと稲垣中学校の山田大毅さん、女子では稲垣中学校の新岡冬彩さん、平山恵理さん、新岡虹海さんの5人が選ばれました(名前は写真左からの順、全員3年生)。

遠征を前に11月22日、選手らは福島市長に全国大会出場を報告。平山さんは「求められる役割を果たし自分の成長につながる」、宮本さんは「支えてくれる方々への感謝を忘れず、ベスト8を目標に戦う」などと健闘を誓いました。福島市長は「培った経験、技術を大いに発揮してください」と激励しました。



活躍を誓ったメンバー



お弁当講座で調理を楽しむ参加者

みんながつながる多彩な催し

地域の家庭教育を支援しようと「つながる!つがる笑顔まつり2019」が11月23日、松の館で行われ、大勢の家族連れでにぎわいました。インスタ映えするお弁当講座や絵本の読み聞かせ、来年度小学校の必修科目となるプログラミングの体験会など、親子で楽しめる多彩なイベントを開催。ステージではフラダンスショーが披露されたほか、クラフトコーナーでは27団体の個性あふれるアクセサリーや小物などが並び、来場者を楽しませていました。主催者のつがる市ママサークルmama sun Angels・工藤美穂代表は「いろんな人が楽しめるイベント。仲間のつながりが広がって“地域みんなで子育てする”という意識を共有できれば」と話していました。

10年の節目、躍進誓う

11月24日、木造中学校(山谷光寛校長)で開校10周年記念式典が開催され、在校生376人と関係者合わせて約450人が、良き伝統と校風の継承を誓いました。

同校は平成21年に木造中、木造西中、館岡中の3校が統合し誕生。「学究」「和協」「壮健」を校訓とし、これまで1,399人の卒業生を輩出しています。

式典では山谷校長が「生徒の毎日の姿が木中の伝統を作り、木中生としての誇りを高めていく。仲間と共に良き歴史と伝統を作って行こう」と式辞。生徒会長の松橋初果さん(3年)は「現状に甘んじることなく、さらに高みを目指して躍進する努力を続けていきます」と誓いの言葉を述べました。



校歌を合唱する出席者

長谷川さんがジュニア女子相撲で世界一

木造高校相撲部の長谷川理央さん(1年)が、10月13日開催の世界ジュニア女子相撲選手権(大阪府)個人中量級で初優勝。団体戦でも日本チームの先鋒として出場し優勝を飾りました。

大会では「負いすぎず自信を持って戦った」という長谷川さんは、個人戦3試合、団体戦3試合を戦い全戦全勝。体格と腕力に勝る外国人選手を相手に、得意の押し相撲を徹底して白星を重ねトーナメントを勝ち上がりました。

11月25日、福島市長のもとを訪れた長谷川さんは世界一になった喜びを報告。「目標にしてきた大会で優勝できてうれしい。来年はジュニアもシニアも優勝できるよう挑戦者の気持ちで向かっていく」とさらなる飛躍を誓いました。



大会を振り返る長谷川さん



葛西館長から記念品を受け取る福山さん

来館者が90万人に到達

11月26日、市立図書館の来館者が90万人に達し、「来館者90万人達成セレモニー」が行われました。

90万人目となったのは、市内在住の福山あゆみさん。子どもと絵本を借りに週1回のペースでこの図書館を訪れるそうです。この日は一人で来館した福山さんは「近くにあるのでいつでも来られるし買い物ついでに気軽に入れる。絵本が充実しているのでよく利用しています」と話していました。

同図書館は平成28年7月29日に開館以来、3年3カ月で来館者90万人を突破。葛西館長は「今日は多くの高校生がテスト勉強のため来館している。いろんな世代の方々が生涯学習の場として活用してくれる結果です」と話していました。

手作りのクリスマスコンサート

12月13日、つがる市民診療所で「Xmasロビーコンサート」が開かれ、市民ら約50人がバンド演奏などを楽しみました。

このコンサートは、旧成人病センター時代から数えて今年が20回目。最近では「つながろう、地域と」をテーマに、地域のデイサービス利用者らを招待して音楽を楽しんでいます。

この日は、診療所の職員ら15人がサンタの衣装などに身を包んでロビーに登場。クリスマスソングのほか、お馴染みの歌謡曲やつがる市民音頭の踊りなど7曲を披露して会場を盛り上げました。ギターを演奏した市民診療所の小倉事務長は「毎年楽しみにしてくれる方もいる。今後も職員一丸で患者サービスに努めていく」と話していました。



クリスマスソングで盛り上がる会場



交流を深める児童と隊員ら

餅つきで地域交流

12月19日、航空自衛隊車力分屯基地で餅つき行事が行われ、地域住民と基地関係者ら合わせて約160人が、明るい新年を願って威勢よく杵を振っていました。

この日は50kgのもち米が用意され、5つの臼に分かれ基地隊員や近隣町内会、基地協力会、車力小5年生、米陸軍関係者らが末広がりの8回ずつ餅をついて交流。食事会では、つきたてを雑煮やあんこ餅などにして振る舞われたほか、基地の三味線部メンバーによる演奏も披露され、参加者は楽しい時間を共有しました。餅つきは保育園以来だという木村真麻さん(車力小5年)は「みんなで楽しく餅つきできた。基地に入ったのは初めて。広くてびっくりした」と話していました。